院内がん登録は、当院でがんと診断したり治療を行った、すべての患者さんのがん情報を登録する仕組みです。また、2016 年からは「がん登録等の推進に関する法律」により、すべての病院で全国がん登録が始まりました。

これらのデータは、国や自治体ではがん検診などの施策評価に利用され、各医療機関では自院のがん診療の状況を把握し、医療の質向上に役立てられています。そのため「院内がん登録」と呼ばれていますが、登録方法や集計方法は全国で統一されています。

登録項目などの詳細は、国立がん研究センターのホームページをご覧ください。

☞ https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_registry.html

また、千葉県内でがん診療を行っている主だった病院（がん診療連携拠点病院等）により、「がん診療連携協議会」が設置されています。がん診療連携協議会では、がん診療に関する情報の共有、評価、分析及び発信を行うとともに、診療の質向上につながる取組に関して検討しています。この場に集う病院でデータを共有し、冊子を作成しています。こちらもご覧ください。

☞ 「千葉県院内がん登録施設別集計 2023 年症例」のご案内 | がん患者ネットワークちば

2023 年の院内がん登録では、全国統一基準に基づき 1,486 件の症例を集計しました。登録件数は前年より増加しており、当院のがん診療は安定して推移しています。

患者さんの年齢構成では高齢の方の割合が引き続き高く、地域医療の中で当院が果たしている役割や、他の医療機関から紹介される患者さんの診療を多く担っていることを反映していると考えられます。

また、発見経緯や治療内容についても前年と比べて大きな変化はなく、当院のがん診療が継続的に行われていることがうかがえます。

この院内がん登録データは、当院のがん診療の状況を客観的に示すものです。
今後もデータの分析を継続し、診療の質向上と地域医療への貢献に活用していきます。

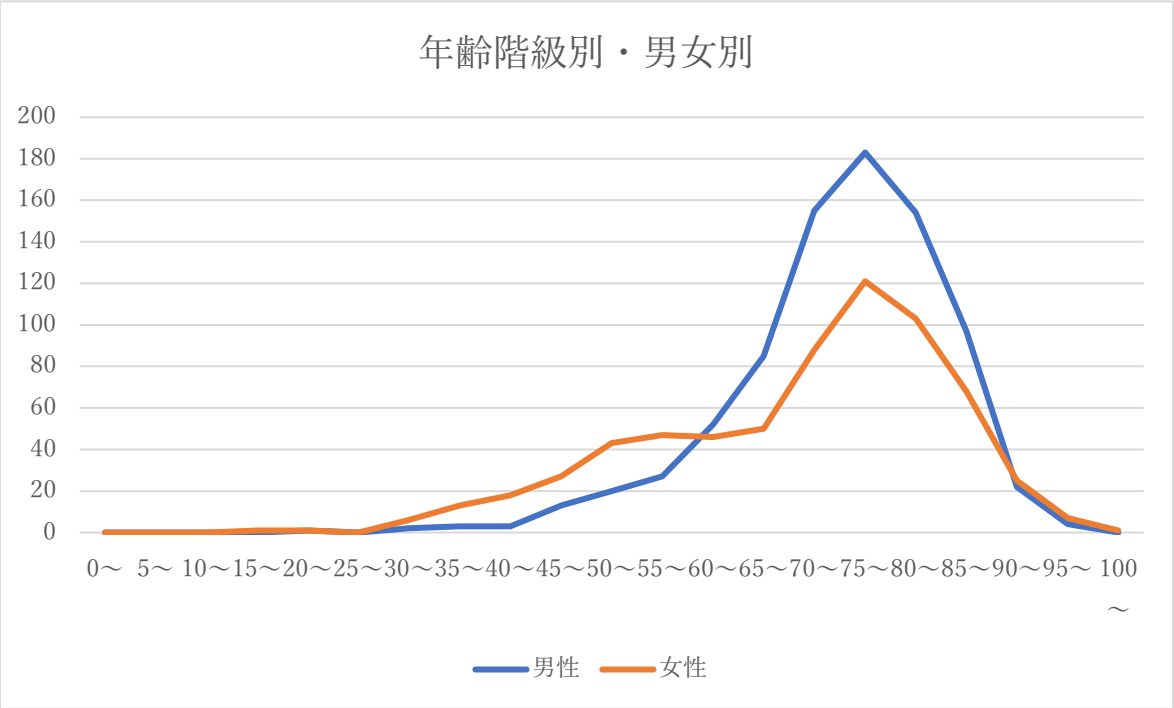
この件に関するお問い合わせは
千葉医療センター　医療情報管理室「がん登録担当者」までお寄せください。
電話：043-251-5311（代表）

【年齢】
がんと診断された時の年齢です。全国平均は 71.1 歳で、当院は 72.7 歳でした。

全国平均	当院平均
71.1 歳	72.7 歳

施設別にみた 75 歳以上の患者さんの割合です。当院は、75 歳以上の患者さんの割合が、全国的にみると少し多いことがわかります。
当院は地域の中核医療機関として、病院・クリニック等複数の医療機関からの紹介患者さんの診療を多く担っており、高齢の患者さんが多くなる傾向があります。

全国中央値	全国最小値	全国最大値	当院
46.2%	0.0%	74.0%	52.8%

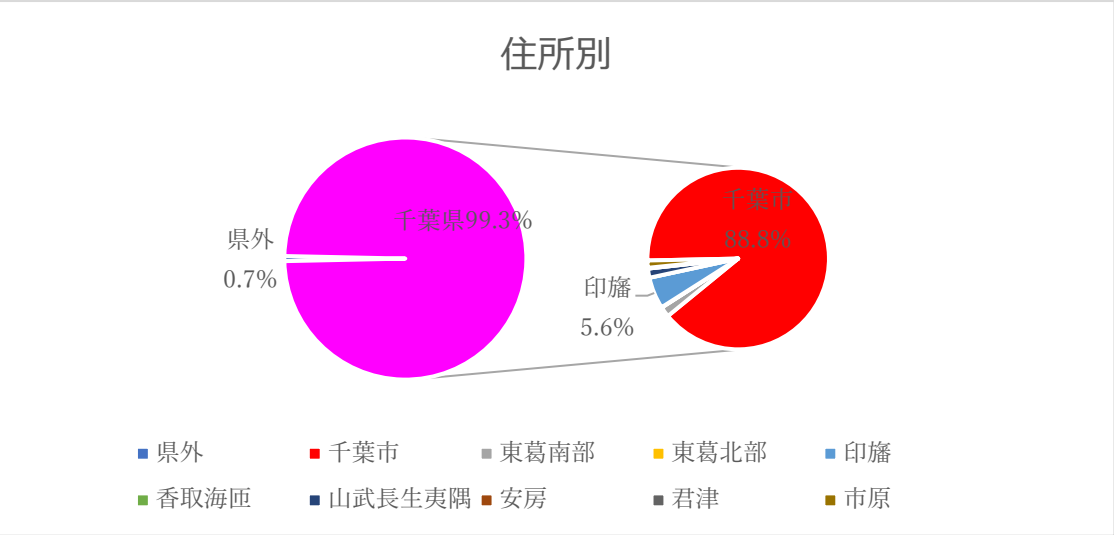


当院の患者さんが、がんと診断された時の年齢を 5 歳刻みで表しました。
男女とも 70 代が一番多いです。
また、50 代前半までは女性の割合が高く、50 代後半から 60 代で男女が逆転します。乳がん、子宮がんといった女性特有のがんは、他のがんに比べて若い世代でも罹患しやすいことが影響していると思われます。

【住所】

がんと診断された時の住所をみると、千葉県内から来院されている患者さんは 99.3%で全国最大値と同じでした。多くの患者さんが県内、とくに近隣地域から来院されており、当院が地域医療の中でがん診療を担っていることがわかります。

全国平均	全国最小値	全国最大値	当院
93.6%	77.1%	99.3%	99.3%



二次医療圏別（注）では、千葉市内の患者さんが最も多く、次いでお隣の印旛医療圏からの来院が多い傾向でした。

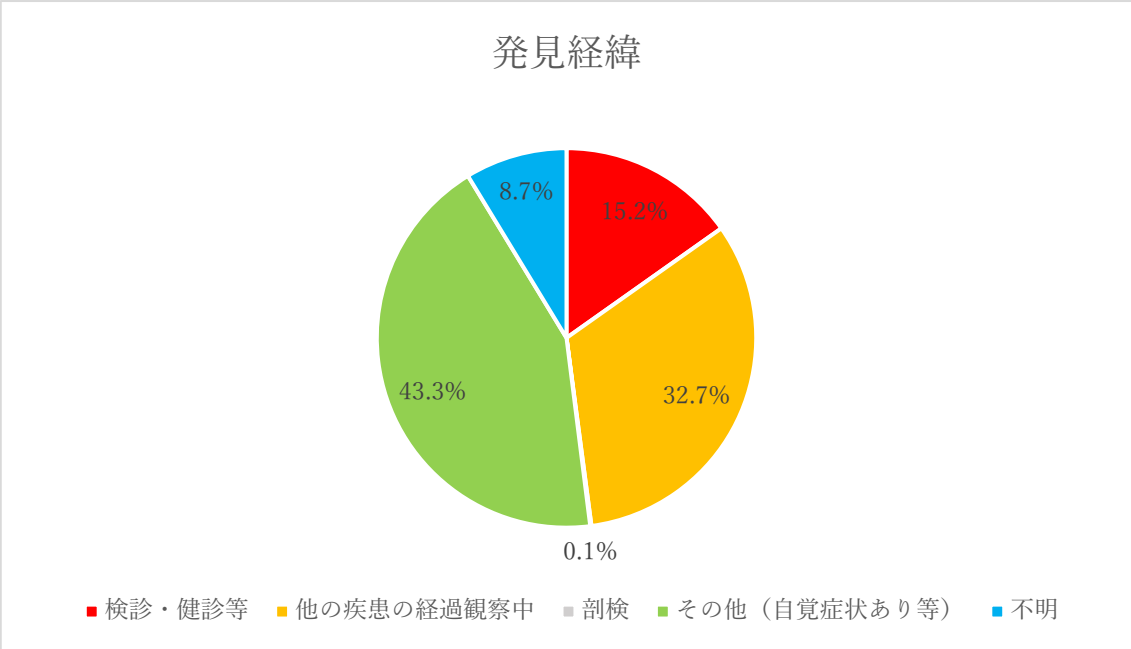
（注）一次医療圏：原則として市区町村。三次医療圏：原則として都道府県。二次医療圏は一般的な病気の入院治療ができる範囲で、二次医療圏を単位として医療政策が作られます。

≪千葉県の二次医療圏≫

二次医療圏名称	構成市町村
千葉市	千葉市
東葛南部	市川、船橋、習志野、八千代、鎌ケ谷、浦安
東葛北部	松戸、野田、柏、流山、我孫子
印旛	成田、佐倉、四街道、八街、印西、白井、富里、酒々井町、栄町
香取海匝	銚子、旭、匝瑳、香取、神崎町、多古町、東庄町
山武長生夷隅	茂原、東金、勝浦、山武、いすみ、大網白里、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町
安房	館山、鴨川、南房総、鋸南町
君津	木更津、君津、富津、袖ケ浦
市原	市原

【発見経緯】
住民検診や職場健診・人間ドック等、自覚症状がないうちにがんが発見された人の割合です。
早期発見のためには、この割合が増加することが理想とされています。

全国平均	全国最小値	全国最大値	当院
14.2%	0.0%	36.3%	15.2%



当院のがん患者さんが、なにをきっかけにして病院にかかり、がんと診断されるに至ったのかを表しています。
住民検診・職場健診・人間ドックなど、自覚症状がない段階で発見された割合は 15.2%でした。当院では、がん検診の二次検診や人間ドックも実施しており、検診・健診をきっかけに診断されるがんも一定数あります。
一方で、他の疾患の経過観察中や、体調不良などの自覚症状をきっかけとして診断に至るケースも多くみられました。自覚症状がきっかけの場合には「その他」に分類されます。
また、2019 年以降、緩和ケア病棟の運用を開始したことにより、他院で初回治療を受けた後に紹介される患者さんが増え、発見経緯が「不明」と分類される症例も含まれています。

【部位・種別治療別】

当院で、初発の患者さんにどのような治療を行ったのかを部位とがんの種類ごとに件数で表しました。胃に腫瘍があっても悪性リンパ腫ならば「悪性リンパ腫」に分類しています。がんの種類によって治療の選択肢が異なるためです。
院内がん登録は、再発した患者さんに行った治療は登録しないなど、全国で統一したルールがあります。そのため、他院で初回治療が行われた後に紹介された場合は手術を行っていても「治療なし」となるなど、実際の治療内容とは異なる場合があります。
9 件以下については、患者さんの特定を避けるための表示ルールに則り「1-3」「4-6」「7-9」の 3 段階に分けて表示しています。

≪表の略称と治療内容≫

略称	治療の内容
手	手術のみ※１
内	内視鏡のみ
手+内	手術+内視鏡
放	放射線のみ
薬	薬物のみ※２
放+薬	放射線+薬物
薬+他	薬物+その他
手/内+放	手術/内視鏡+放射線
手/内+薬	手術/内視鏡+薬物
手/内+他	手術/内視鏡+その他
手/内+放+薬	手術/内視鏡+放射線+薬物
他	その他治療※３/その他の組み合わせ
治療なし	治療なし※４

※1　外科的治療と体腔鏡的治療のいずれか、または両方を行っている場合
※2　化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法のいずれかひとつ、または複数を行っている場合
※3　肝動脈塞栓術、アルコール注入療法、温熱療法、ラジオ波焼灼を含むレーザー等焼灼療法、その他の治療のうちひとつ、または複数を行っている場合
※4　当院で「がん」と診断し他院に紹介した場合、他院で治療をした後に再発などで紹介された場合、患者さんの身体状況やがんの進行度合いから積極的な治療を行わずに疼痛をやわらげる治療を行った場合等

部位	手	内	手+内	放	薬	放+薬	薬+他	手/内+放	手/内+薬	手/内+他	手/内+放+薬	他	治療なし	合計
口腔・咽頭	10	0	0	0	(1-3)	0	0	(1-3)	0	(1-3)	0	0	23	36
食道	0	(4-6)	0	(1-3)	(4-6)	(1-3)	0	0	(1-3)	0	(1-3)	(1-3)	17	34
胃	23	26	(4-6)	0	13	(1-3)	0	0	17	0	0	0	42	126
小腸	(1-3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	(4-6)
結腸	61	49	(7-9)	0	(4-6)	0	0	0	25	0	0	0	42	190
直腸	15	(7-9)	(1-3)	0	(1-3)	0	0	0	16	0	(1-3)	0	21	65
肛門/肛門管	(1-3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)
肝臓	(1-3)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(1-3)	(1-3)	0	(1-3)	43	52
胆嚢・胆管	(1-3)	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	0	0	0	24	30
膵臓	(1-3)	0	0	0	12	0	0	0	13	0	0	0	44	70
喉頭	(4-6)	0	0	(1-3)	0	(1-3)	0	0	0	0	0	0	(4-6)	12
肺	48	0	0	14	30	11	0	0	(7-9)	0	(1-3)	0	130	244
骨・軟部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(4-6)	(4-6)
皮膚	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	21
乳房	16	0	0	28	20	0	0	(1-3)	36	0	52	0	40	195
膣・外陰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	(1-3)
子宮頚部	21	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	0	(1-3)	0	11	34
子宮体部	(7-9)	0	0	(1-3)	(1-3)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(7-9)	21
卵巣・卵管	(4-6)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(4-6)	16
前立腺	(1-3)	0	0	0	72	(1-3)	0	0	0	0	0	0	47	121
精巣	(1-3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)
膀胱	(1-3)	11	(1-3)	0	0	0	0	(1-3)	18	(1-3)	0	0	14	48
腎・尿路	(4-6)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	16	25
脳神経	(4-6)	0	0	(1-3)	(1-3)	0	0	(1-3)	0	0	0	0	15	24
甲状腺	15	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(4-6)	22
悪性リンパ腫	(1-3)	0	0	0	10	0	0	0	(1-3)	0	0	0	21	35
多発性骨髄腫	0	0	0	0	(1-3)	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	(1-3)
白血病	0	0	0	0	(7-9)	0	0	0	0	0	0	0	10	18
他の血液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(7-9)	(7-9)
その他	(4-6)	0	0	(1-3)	(1-3)	0	0	0	(1-3)	0	(1-3)	0	17	26
合計	267	100	13	49	189	17	0	(7-9)	153	(1-3)	59	(1-3)	627	1,486

※「がん患者ネットワークちば」公表の冊子では、一定期間で治療内容を区切っています。

この表では、1 年後に行われた治療であっても初回治療であればカウントしています。